

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)第24回大臣級会合

FNCAの活動方針に関する共同コミュニケ

2023年11月28日採択

我々、FNCA参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的な地域のパートナーシップを通じて、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、地域の社会的・経済的発展を促進するとともに、加盟国の社会的・経済的充実につながる研究開発、知識と情報の共有及び能力の構築が、とりわけFNCAの主要な役割と活動目的であることを想起し、

原子力エネルギーには潜在的価値があり、エネルギーミックスに関する解決策や、温室効果ガスの排出削減及び/又は回避に寄与する可能性があることに注目し、

原子力科学技術分野及び放射線利用分野における必要な人材確保の重要性、ジェンダーバランス及びジェンダー平等を促進すること並びに若年層/多様な専門家等を惹きつけることを通じて知識を継承することの重要性を認識し、

大臣級会合での議論を通じて「人の健康と医療福祉における原子力科学の貢献」に関連する活動を展開させていくことの意義を共有し、

シンガポールがMLMにオブザーバー参加したことを歓迎し、FNCAが将来の加盟を希望する国に対して開かれた組織となることを期待し、

FNCAが来年、創立25周年を迎えることに鑑み、記念行事に加盟国が協力することを確認し、

持続可能な農業発展、食品安全、環境に配慮した工業開発、気候変動への影響軽減、自然生態系保護などの分野における放射線利用や関連するFNCAのプロジェクトの価値を認め、

2023年6月のコーディネーター会合(CDM)において新たに決定された気候変動対策プ

プロジェクトの有用性及び、研究炉のパフォーマンス管理プログラム(PMP)の新たな提案プロジェクトの将来的な可能性を認識し、

新型コロナウイルスの世界的なパンデミックを経て、FNCA のプロジェクトが対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式の活用を通して再開し、農業、工業、医療、分析及び環境において FNCAの活動の進展を確認したこと高く評価し、

2023 年 6 月のスタディ・パネル(SP)における「SMR を含む次世代炉の展望」に関する議論を通して再認識された、当該分野における加盟国間の連携強化の必要性を認め、

2024 年のスタディ・パネル(SP)のトピックが「医療用放射性同位元素(RI)の製造と需要」であることを確認し、

IAEAが 2022 年 2 月に発足した、放射線によるがん治療(全ての人のためのがん治療)の確立・拡大を支援する「Rays of Hope」の考えを共有し、FNCA と、IAEA、OECD/NEA、IFNEC等の原子力関連国際機関との連携の重要性を認識し、これらの機関との連携/協働の可能性を視野に入れることに合意し、

次のことに取り組むことを決定した。

1. 医療分野でのFNCAとIAEAの将来的連携

人獣共通感染症対策において、既存の事業に重複しない形で、IAEAが FAO やWHO を含む関連国際機関との調整を行うことを期待し、将来的に ZODIAC プロジェクトでのFNCAとIAEAとの協力の可能性を探求する。

また、FNCA の関連プロジェクトにより確立されるがん治療のプロトコルが、IAEA が立ち上げた「Rays of Hope」の枠組みにおいて十分に活用され得ることを期待し、「Rays of Hope」に関連した IAEA と FNCA との将来的な連携を模索する。

2. 放射線技術を用いたがん治療の促進

FNCA の放射線治療プロジェクトをより活性化を図るため、各加盟国の方針を踏まえ、アジア地域の緩和的治療を含むがんの放射線治療の促進、またはその活動の充実を図るとともに、プロジェクトリーダーの主導の下、アジア地域における放射線を利用したがん治

療への取組を促進させる。

また、関連国際機関との革新的な放射線治療技術の進展や普及に向けた取組を強化し、継続する。

3. 環境保護及び気候変動対策における協力

近年の世界的な異常気象の多発に鑑み、加盟国に対し、環境保護、学術調査、及び気候変動対策に関する政策を補強し、これらの取組に向けた協力を継続して推進することを奨励する。原子力技術の利用及び研究開発は、当該努力において有用となる可能性がある。

4. SMR を含む次世代炉に関する情報共有

2023 年のスタディ・パネル(SP)での「SMR を含む次世代炉の展望」に関する議論に基づき、加盟国は関連する課題の情報交換を促進する。また、新しいタイプの原子炉の開発状況を加盟国間で共有するため、技術面、安全面、経済面に関する可能性と展望についての情報交換を重視する。

5. 研究成果の普及

加盟国に対して、放射線育種、放射線加工、研究炉利用、アイソトープ製造及び中性子放射化分析等に関するプロジェクトの成果を、加盟国の社会的・経済的な充実に、より効果的な貢献ができる商業化の可能性も考慮しつつ、最終ユーザーによる利用を促進することを奨励する。

6. 持続可能な農業の発展と食品安全、環境保護、医療と健康、及び原子力安全・セキュリティ文化

持続可能な農業の発展と食品安全、環境保護、医療、及び原子力安全・セキュリティ文化のための基盤開発に関連する原子力科学・技術、放射線利用の応用分野における活動を引き続き拡大する。実行に際し、既存の研究開発分野を促進するとともに、将来を見据え、加盟国が幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与する研究開発の分野を先取りして採択する。

7. 原子力科学・技術分野と放射線利用における人材育成の協力

各加盟国の必要性や状況に応じ、組織的な人材交流や人材基盤の充実に関する取組について、対面のセミナーやワークショップ、ウェビナーやオンラインワークショップ等を開催し、情報交換を促進させる。FNCA のプロジェクト及び活動への参加、リーダーシップ及び代表の多様性は重要である。加盟国は、労働力におけるジェンダーバランス及び世代の多様性の促進等を通じて、原子力科学・技術分野におけるジェンダー平等の達成を追求する。ジェンダーや年代など細分化されたデータを報告し実用に役立てる。

8. パブリック・コミュニケーション及び広報機能の拡大

加盟国及びアジア地域における原子力科学・技術に対する国民の信頼の構築に引き続き取り組む。また、FNCA のウェブサイトや加盟国で開催される公開講座等を通じた広報機能の拡大に努めるとともに、IAEA、OECD/NEA、IFNEC 等の関係国際機関との連携を強化する。

9. その他

1) FNCA への新規参加への対応

今後、FNCA への加盟を希望する国がある場合には、加盟国間での円滑な意思疎通を図るとともに、迅速な合意形成に努める。

2) FNCA の創立 25 周年に向けて

FNCA は 2024 年に創立 25 周年を迎える。節目の記念式典に向け、FNCA の活動に関する重要なプログラムや行事を加盟国は連携して準備する。